

多読クラブ会員の皆様へ

書籍追加、その他のお知らせ（2007年1月第2弾）

ほのぼの系でおなじみの作家 Cynthia Rylant 作、The Cobble Street Cousins シリーズの2巻から6巻追加です。Cobble Street でチャーミングなおばさんと住む3人の9才の従姉妹たちの話です。これで全巻です。1巻目（先月入荷）だけは先に読んだほうがいいと思います。

A Little Shopping YL:2.5 総語数：3300

3人が Lucy おばさんに、おばさんの花屋のドールハウスを作ってプレゼントしよう、と思い立つことから始まります。

●Some Good News YL:2.5 総語数：2700

3人が、新聞作りを思いつきます。Mrs. White の友人や犬といった新キャラクターも登場します。

Special Gifts YL:2.5 総語数：3400

第1巻のクッキーカンパニーの折りに出会ったおばあさんに洋裁を習います。なんとこの一人暮らしのおばあさんは90歳！でも元気に毎日可愛い猫を作ったりしているのです。

●Summer Party YL:2.5 総語数：3500

親達が1年間バレー巡業で世界を旅しているその1年が終わろうとしています。3人は大好きなおばさんや他の人達と別れるのかと思うととても寂しい思いでいっぱいです。そんな3人ですが、親達が帰ってくるお祝いと日ごろお世話になった友人、近所の人達を呼んでサマーパーティーをする計画を立てます。

The Wedding Flowers YL:2.5 総語数：3600

とうとうシリーズ最終巻です。題名の通り結婚式があります。これまでのお話を読まれた方はもう誰の結婚式かわかるはず。素敵な結婚式にすべく3人の従姉妹が集まって久しぶりの一緒の日々を過ごします。



Jigsaw Jones は、1日1ドルで依頼を引き受ける小学2年生の私立探偵。パートナーの少女、Mila と共に様々な事件に挑んでいくシリーズ。今回6冊の追加で、アマゾンで手に入るものは全てそろえました。全16冊。

The Case of the Bicycle Bandit YL:2.5 総語数：4800

Ralphie さんの自転車(Old Rusty)は、これ以上ないくらいポンコツなんだけど彼にとっては大事な大事な愛車。ある日、その Old Rusty が盗まれてしまう。Jigsaw と Mila は聞き込み調査を始めるが、目撃情報は…。そして、捜査線上に意外な人物が。え！どうして…？

●The Case of the Spooky Sleepover YL:2.5 総語数：5000

Ralphie が Jigsaw の元へ依頼に来た。夜中に妙な音がすると言うのだ。何でそんな音がするんだろう？あなたはお化けを信じる？信じない？

The Case of the Class Clown YL:2.5 総語数：4700

The Case of the Runaway Dog YL:2.5 総語数：4700

●The Case of the Marshmallow Monster YL:2.5 総語数：4700

●The Case of the Haunted Scarecrow YL:2.5 総語数：4700



A to Z Mysteries シリーズに H から N までの7巻を追加しました。

●The Haunted Hotel YL:3.5 総語数：8000

Dink、Josh、Ruth Rose 達の住む町にある Shangri-la Hotel に幽霊が出た！初めはハロウィーンの冗談かと思った3人ですが、ホテルへ様子を見に行ってみると、外には新聞記者や足早に去って行く宿泊客たちが、そしてフロントデスクには困り果てた Mr.Linkletter が…。幽霊は本当にできるの？

●The Invisible Island YL:3.5 総語数：8500

7月。小さな Squaw Island（地図参照）に食事と探検に行くことにした3人。島に渡り、宝物がないか探しはじめる。すると、でっかい足跡がいくつもあるのを見つけた。誰がいる！さらに Ruth Rose が\$100札を発見。誰が何で落としたの？ひょっとして、財宝を隠してあるのかも。

●The Jaguar's Jewel YL:3.5 総語数：8500

手紙をもらい、Dink のおじさんの住むニューヨーク市を訪ねる3人。Warren おじさんは、ポーター美術館で仕事をしている。さっそく4人で、おじさんの仕事場に向かう。部屋には大きな箱が配達されていた。なかには、南米インカ時代の、金の杯、エメラルドつき金のジャガーといった古美術品が入っていた。このエメラルドが、ニセモノにすり替えられてしまう。初めて大都市に触れる感覚、ワクワクする感覚が、とてもよく伝わってきます。（他に、以下4冊）

●The Kidnapped King YL:3.5 総語数：8500

●The Lucky Lottery YL:3.5 総語数：8300

●The Missing Mummy YL:3.5 総語数：7500

●The Ninth Nugget YL:3.5 総語数：7100



DVD

「Speed」と「A.I.」2巻追加。「Speed」はシャドーイングでだったか、リスニングでだったか、どこかで話題になっていたので購入したのですが、どんな話題だったのか忘れてしまった。自分で見て確認します。



お知らせ

実習教室、水曜 1:00-3:00pm の多読会は予約制となっておりますが、毎週予約なしでもオープンしています。受付事務の職員は多読に関するご質問には基本的にお答えできませんので、多読相談、ご質問、書籍リクエスト等がありましたら、なるべくメールで hemmi@e-pal.co.jp までお願いします。Ready to Read の Henry & Mudge と Pinky & Rex シリーズは習志野台教室に移動してあります。かわりに Amanda Pig 系と Peanut 系、他が実習に行っています。

編集後記

先日、子どもの知り合いの家に、子どもと一緒に昼食を招待されて行って来ました。その家はご主人がパキスタン、奥様がインドネシア出身。ご家族全員が外では日本語中心の生活で、家の中の会話はすべて英語。奥様は幕張の日本 IBM に勤めていらっしゃるということで、そういった外資系企業内部の英語事情に私は興味があったので聞いてみました。まず、「社内の公用語は英語なのか？」の問いに、「ぜんぜん。日本人社員の 9 割は英語が話せない」とのこと。また、TOEIC のスコアが昇進条件になっているというので、「現実には実際の仕事上において生産的で有能なことが第一条件で、英語力は二次的なものでしょう？」との私の問いに、意外な言葉が返ってきました。「IBM のような国際企業では、多国籍の重役どうして会議や様々なやりとりがなされるので英語力は絶対必要条件。通訳なんか通していたら失格。平社員ならあまり関係無いが、出世するためには英語力が最低条件で、英語力のある人の中から有能な人が選ばれていく」とのこと。私はこれまで、大企業における TOEIC スコアと昇進条件の結びつけは、単なる企業側の人事上の都合による「押さえつけ」に利用されていると思っていたのだが、どうもそうではないらしい。出世するためには、英語力は「基本技能」の一つのようだ。（ヘンミ）